



月一だより

中央区立 月島第一小学校
令和2年1月 NO.455

オリンピックイヤーの幕開け

校長 荒川 比呂美

新年あけましておめでとうございます。東京2020のオリンピック・パラリンピックイヤーとなりました。本校の玄関ホールには、オリンピック・パラリンピック開催までのカウントダウンが表示されています。代表委員会の子供たちが毎日めくり換えています。1月8日の3学期始業式現在、オリンピックまであと198日、パラリンピックまで230日となりました。東京都教育委員会は、この競技大会を子供たちの人生にとってまたとない重要な機会と捉え、レガシーを一人一人の心と体に残していくために、平成28年度よりオリンピック・パラリンピック教育をスタートさせました。今年で5年目となります。「ボランティアマインドの醸成」、「障害者理解の促進」、「スポーツ志向の普及・拡大」、「日本人としての自覚と誇りの涵養」、「豊かな国際感覚の醸成」を目指し、本校もこれまでに様々な取り組みを進めてきました。地域清掃活動や障害者福祉体験、夢・未来プロジェクトによるプロアスリートの招聘、日本の伝統文化に触れる体験学習、1校1国運動（本校は、トルコ共和国）による交流等です。オリンピックイヤーとなる今年も、これまでの取り組みを充実させ、オリンピック・パラリンピック教育をより一層推進していこうと思います。

学校教育においては、新しい学習指導要領の全面実施の年となります。全ての教科で「主体的・対話的で深い学び」が、キーワードとなっています。学校には、子供たちに基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けさせること、そして、それらを活用するための「思考力・判断力・表現力等」を鍛えていくこと、また、「学びに向かう力や人間性」を育成していくことが求められています。どれもバランスよく育て、それらに関連付けて、生きて働く力としていきたいです。

2020年は、子年。新たな十二支のスタートです。これまでの成果から引き継ぐべきものは維持しつつ、新たなチャレンジも前向きにしていこうと考えています。

本年も月島第一小学校の子供たちの健やかな成長のために、教職員一同、全力でがんばって参りますので、保護者・地域の皆様の御支援・御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

1月の生活目標

礼儀正しくしましょう。

外国語活動について

英語主任 田中 貴子

本校では、1～4年生は週1回の外国語活動、5、6年生は週2回の外国語科の授業を行っています。英語というツールを使って、コミュニケーション能力を高めることを目的に、指導をすすめています。デジタル教材を活用して言葉の練習をしたり、友達とインタビューを合ったり、自分の考えや思いを発表したりしています。コミュニケーションを図るときに特に大切にしているのが、下記の4つのポイントです。

- ☆ 「eye contact」 (目を合わせて)
- ☆ 「smile」 (笑顔で)
- ☆ 「clear voice」 (はっきりとした声で)
- ☆ 「Listen carefully.」 (よく聞いて)

イラスト入りのカードを掲示し、4つのポイントを常に意識させています。子供たち一人一人が外国語に親しみ、コミュニケーションをより楽しめるよう、今後も努めていきたいと思っています。

研究について

研究主任 海老原 幸子

「生き生き・伸びる・月一つ子～基礎・基本の定着を図る指導法の工夫～」を主題とした研究をスタートして三年目になります。今年度は、昨年度までの「数と計算」領域から「図形」領域に変更し、研究を進めています。

昨年度同様、既習事項を活用し、今年度は「図形」領域ですので、さらに操作活動等数学的活動を通して、考えを深めさせたり、基礎・基本を身に付けさせたりしています。これまでに行った授業では、やってみようと思う問題設定をするよう工夫したり、ペア活動で考えを説明し内容を深めたり、多くの図形を操作することでいつでも同じことがいえるということを見せたりする等、力を付けるための工夫を行っています。

これまでに4学年が研究授業を行いました。授業後には全体で協議し、子供たちに力が付くようにしています。これからも深めていけるようにします。

